資料紹介

廉姓家譜』につい

7

 \neg

崎原恭子

Brief Notes on A Genealogical Record of Ren Clan

Kyoko SAKIHARA

廉氏(伊覇家)は首里系士族に属し、現在ではうるま市や南風原町廉姓家譜』は、二〇〇九年に伊覇門中より当館へ寄贈されたものであ要

等に親族が広がっている

である。

である。

である。

の今後の保管について協議した結果、当館に寄贈することになったそう中に代々受け継がれてきたが、紙の劣化や破れ等がみられたため、家譜別身離さず持ち運び、戦火をくぐりぬけたそうである。その後、伊覇門この箱は少なくとも戦前からあるようで、戦時中でも政行氏の曾祖母がこの箱は少なくとも戦前からあるようで、戦時中でも政行氏の曾祖母がこの着は少なくとも戦前からあるようで、戦時中でも政行氏によると、墨書さされた当初の家譜は木箱に入っており、蓋の表面には「家譜」と

は、縦二九・七㎝、横二〇・五㎝である。九十三枚。 の理後の法量 であったが、修理の際に縁紙を付け一定に整えた。修理後の法量 を欠落しており、修理の際に新調した。修理前は破れ等のため大きさが も欠落しており、修理の際に新調した。修理前は破れ等のため大きさが も欠落しており、修理の際に新調した。修理前は破れ等のため大きさが も欠落しており、修理の際に新調した。修理前は破れ等のため大きさが も欠落しており、修理の際に新調した。修理前は破れ等のため大きさが も欠落しており、修理の際に縁紙を付け一定に整えた。修理後の法量 不揃いであったが、修理の際に縁紙を付け一定に整えた。修理後の法量 であったが、修理の際に縁紙を付け一定に整えた。修理後の法量 であったが、修理の際に縁紙を付け一定に整えた。修理後の法量 であったが、修理の際に縁紙を付け一定に整えた。修理後の法量 といる。

たことが記されている。家譜に直接的な記事は掲載されていないが、四ることを親類一堂の署名入りで進上し、系図座によってそれが認められいる。ここには、伊覇家は北谷掟(一世行満)からひく譜代の系統であ系図座の玉城按司及び伊野波親方の署名入りの文書の写しが掲載されて譜と思われる。冒頭には、一七二〇年(康熙五十九年)五月二十七日付、家譜の世系図には、「首里之印」の朱方印が押されており、家格護の家

行盈の時期に進上されたと想定される。

した。 き足されたと考えられる文字については、ゴシック体を用 たが、一部当用漢字に改めた。系図についてのみ、 分析がなされた。なかでも、 た。文字が欠けているところには、おおよその範囲を□で示 記事を抜粋して掲載したと考えられる。ちなみに、御印判 ているので、宮里氏が何らかの経緯で『廉姓家譜』を閲覧し、 反別法」(註2)には、出典が「廉姓伊覇家ゝ譜所載」となっ れた御印判(辞令書)の写しが掲載されている。この御印判 しかし、行満が北谷掟の役職に就き、その知行について記さ (辞令書)の内容については、これまでいくつかの文献で紹介. (辞令書)の原本の行方は現在もわからないそうである。 本資料を翻刻するにあたっては、できるかぎり本文に従 一世行満について、 あまり詳しいことは記されていな 宮里栄輝氏の 一琉球古来の土地 後世に書

たハ。 子氏及び崎原綾乃氏の御教示を得た。記して感謝の意を表し子氏及び崎原綾乃氏の御教示を得た。記して感謝の意を表しなお、本資料の翻刻にあたって、不明の数文字は小野まさ

- (註1) 那覇市市民文化部歴史博物館『氏集 首里那覇』
- 一九三七手 論文集編纂委員 代表者 島袋全發 『南島論叢』 宮里栄輝「琉球古来の土地反別法」伊波先生記念

(註2)

¹⁾ 沖縄県立博物館・美術館 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1 Okinawa Prefectural Museum and Art Museum, 3-1-1, Omoromachi, Naha, Okinawa 900-0006, Japan.

(原文草書)

存候得共難差止申上事御座候右之跡宜御被露奉頼候以上座候者永代之面目無此上御高恩之程不儀可奉存候返々其思不少奉被思召上右きたゝんおきて系祖被召立被下度儀重茂奉願候左様御御朱印不軽證拠乍有御座願望不相立儀別而残念至極奉存候御憐憫□□最早被仰出重御事候得者其筋可□□□得共右通例茂有之邂逅□□

伊覇仁屋

之通被仰付被下度至私共茂奉願候右之通可然様御取成奉頼候以上子者親類中ニ茂年寄共より承伝少茂疑無御座候御助被思召上願望被召迦依之心底難止又々願望之程申上儀御座候きたゝんおきて様右通先頃訴訟申上候ニ茂被召加奉願候処先祖きたたん掟事者系録ニ

親類

同日

宇座筑登之親(雲上)

比屋根親雲上 親川[_____

糸数親雲上

伊野波親方 御系図座

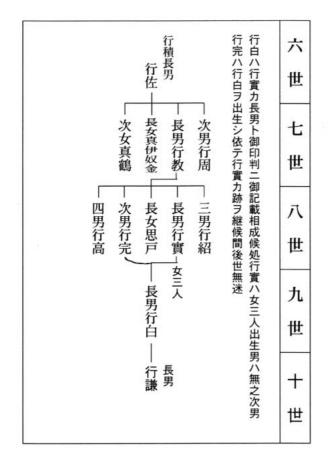
玉城按司

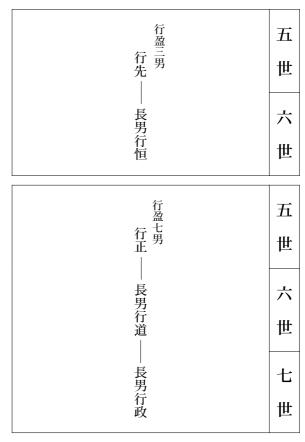
康熙五拾九年庚子五月廿七日

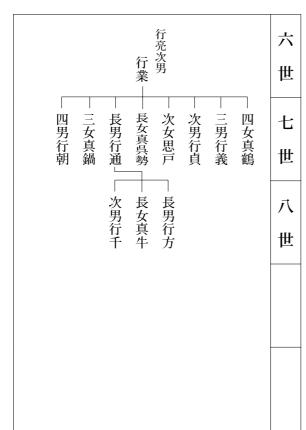
此表相達候間きたゝん掟系祖ニ立普代系相調可差出者也

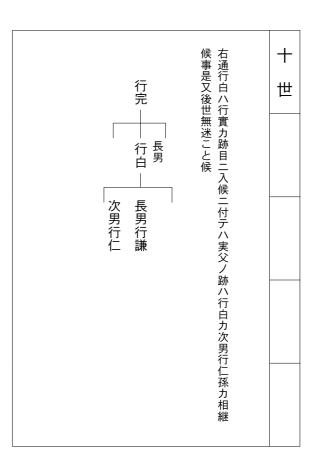
行盈次男 五 行売 世 長女真牛 長男行路 三女真鍋 次女真蒲戸 次男行業 六 世 行盈長男 五 行積 五位 世 六位 三女思戸 長男行前 長女真鍋 次男行佐 次女真加戸「三男行郁 六 世 長男行英 七 位 次男行見 七 世

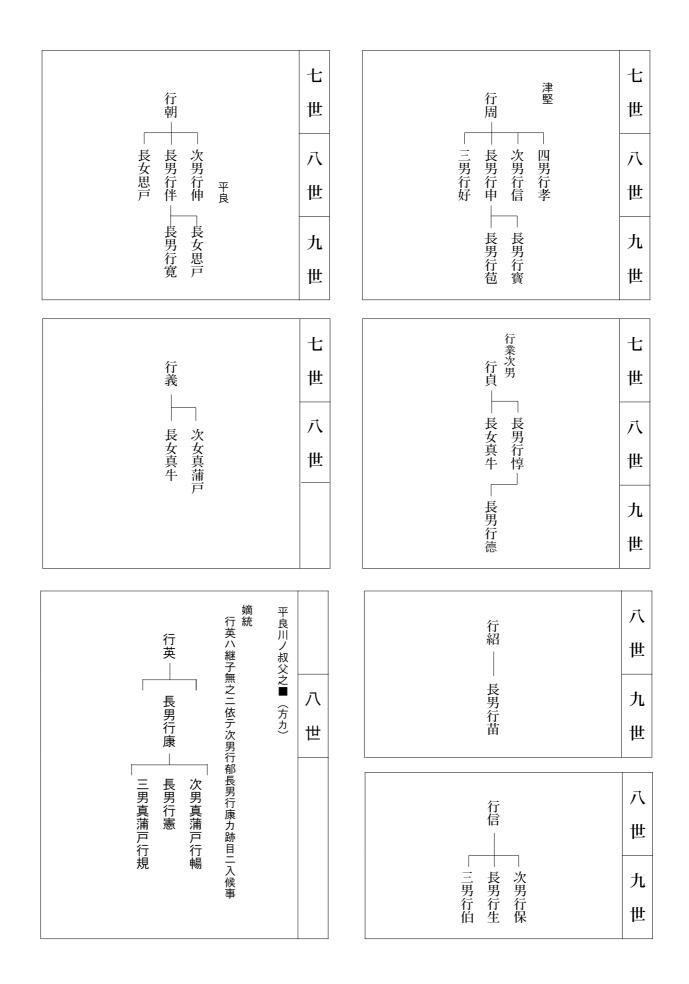
図 系 世 姓 廉	
大	
大宗行 満	世
 	\equiv
長 男 行 常	世
三長次	三
三男行章 一 三男行章 一	世
長長	四
長女真加戸	世
七五三長長次四六	五
七 五 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	世

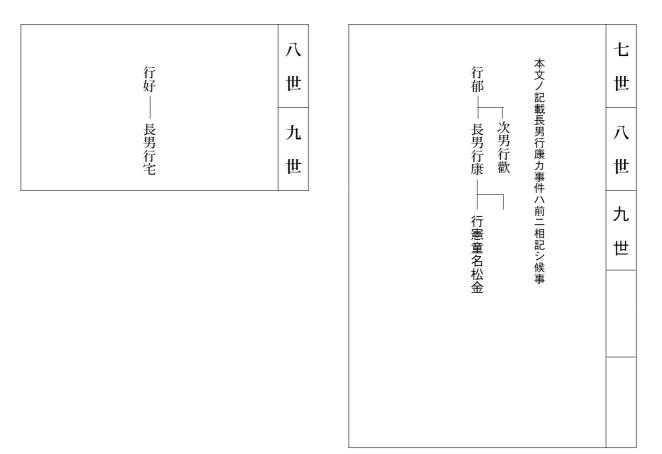












廉姓家譜 正統

紀録

世行滿 北谷掟

童名真亀唐名廉清號月清玉城間切百名村之生産也
生日忌日不詳

父母不知為何人

室興氏山城親雲上恒竹女真牛號松鶴

長男行常

尚永王世代

万曆五年丁丑九月六日賜北谷間切川板田并仲原地百五十貫苅御印

半方記

(原文草書)

いかまきり百五十ぬきちはたけ三おほそかにはんたはる又中はきたゝんまきりのもとあつかりちの内よりこれのくにのろくも

الح

一人きたゝんおきてにたまわり申あおりやへのあんしかるしの御まへのいくにのかないの三分一かなうべし候このちのいろ〳〵のみかないハ御ゆるしめされ候又のろかない

しよりよりきたたんおきての方へまいる

万暦五年九月六日

二世行常 壽茂手親雲上

童名真山戸唐名廉耻行一万暦三十七年己酉生

父行滿

母興氏真牛

室赤田村住竹下親雲上女真加戸號自心

長男行章

次男行昌

三男行清 雖為三男行章依無嗣子継家跡也

尚賢王世代

崇禎年間 尚豊王姫澤岻翁主為儀者叙筑登之座敷

順治年間叙黄冠

尚貞王世代

康熙八年己酉十月十六日賜羽地間切壽茂手之名

康熙九年庚戌正月十日不禄壽六十二號春岳

二世行章 壽茂手子

童名真蒲戸唐名廉伯行一崇禎十六年癸未生 生日不詳

母無系真加戸

室内金城村住玉那覇筑登之親雲上女真牛

長女真加戸 康熙四年乙巳九月十日生乾隆七年壬戌四月十一日死壽七十八

尚質王世代

順治十四年丁酉八月十日結敧髻

康熙十一年壬子十二月二十一日不禄享年三十號梅林

三世行昌

童名真三郎唐名廉備行二順治三年丙戌生 生日不詳

父行常

母無系真加戸

尚質王世代

順治十八年辛丑八月十日結敧髻

康熙十五年丙辰九月十日不禄享年三十一號永道

二世行清 伊覇子

童名樽金唐名廉儉行三順治六年己丑生 生日不詳

父行常

母無系真加戸

室叚氏宇座筑登之親雲上徳篤真滿金 生死不伝

長男行盈

尚質王世代

康熙二年癸卯八月十日結敧髻

康熙三十九年庚辰三月十日不禄享年五十二號一渓

四世行盈 伊覇筑登之親雲上

童名真山戸唐名廉興行一康熙三十一年壬申十一月十四日生

父行清

母叚氏真滿金

室恩納間切前田村儀間女真鍋 乾隆二十六年辛巳五月二十五日死號透漢

長男行積

長女真蒲戸 康熙五十四年乙未十月十日生乾隆五十年乙巳二月十日死壽七十一

次男行亮

三男行先

四男行運

五男行度

六男行納

七男行正

尚貞王世代

康熙四十六年丁亥二月十三日結發髻

尚敬王世代

雍正八年庚戌六月十四日叙黄冠

雍正十二年甲寅十二月十五日為継世御門御番親雲上

尚穆王世代

乾隆二十五年庚辰十二月朔日為漏刻御番役叙勢頭座敷

乾隆三十六年辛卯七月二十七日不禄壽八十號實源

五世行積 伊覇筑登之親雲上

童名真三郎唐名廉澹行一康熙五十二年癸巳十二月二十日生

父行盈

母無系真鍋

室無系新垣筑登之女武樽金

長男行前

長女真鍋 乾隆十三年戊辰四月十九日生乾隆六十年乙卯四月六日死享年四十八

次男行佐 次女真加戸 乾隆十七年壬申九月六日生乾隆六十年乙卯十月五日死享年四十四

尚敬王世代

三女思戸 乾隆二十四年己卯十月二十四日生道光六年丙戌四月五日死壽六十八

尚穆王世代

雍正四年丙午二月九日結敧髻

乾隆十三年戊辰六月十五日叙筑登之座敷

乾隆二十六年辛巳十二月三日叙黄冠

乾隆四十八 (五ヵ) 年庚子七月二十五日不禄壽六十八

五世行亮 伊覇筑登之親雲上

童名樽金唐名廉淡行二康熙五十七年戊戌六月十一日生

母無系真鍋

室大里間切与那原村蒲戸新里女真呉勢

長女真牛 乾隆十二年丁卯八月十六日生

長男行路

次女真蒲戸 乾隆十八年癸酉四月八日生

三女真鍋 乾隆二十年乙亥九月三日生

次男行業

尚敬王世代

雍正八年庚戌二月九日結敧髻

尚穆王世代

乾隆十七年壬申十二月朔日叙筑登之座敷

乾隆二十一年丙子十月蒙 冊封使全魁周煌各賜親筆一幅

船至姑米山損壞因備材料新造勤効労筆者故有賜為

乾隆三十二年丁亥六月朔日為大台所筆者

乾隆三十三年戊子十二月朔日叙黄冠

乾隆四十一年丙申八月二十五日不禄享年五十九號空心

五世行先 伊覇子

童名思加那唐名廉潔行三康熙五十九年庚子七月十五日生

父行盈

母無系真鍋

室無系小橋川女真鶴

長男行恒 童名真山戸唐名廉利乾隆十五年庚午十月三日生同十九年甲戌十一月二十五

日夭享年五

尚敬王世代

乾隆四十三年戊戌二月二十七日不禄享年五十九號夏室 雍正十二年甲寅二月九日結敧髻

父行盈

童名思次郎唐名廉齊行四康熙六十一年壬寅七月十一日生

五世行運 伊勒子

母無系真鍋

尚敬王世代

雍正十二年甲寅八月九日結敧髻

乾隆四十三年戊戌五月二十九日不禄享年五十七號一如

五世行度 童名松金唐名廉淵行五雍正六年戊申七月二十一日生

母無系真鍋

父行盈

尚敬王世代

乾隆七年壬戌二月九日結敧髻

原是冊封

乾隆五十年乙巳十月五日不禄享年五十八

五世行納 伊覇筑登之親雲上

童名小樽金唐名廉温行六雍正七年己酉九月十日生

父行盈

母無系真鍋

尚敬王世代

乾隆七年壬戌九月十日結敧髻

尚穆王世代

乾隆二十五年庚辰十二月朔日叙筑登之座敷

乾隆四十二年丁酉十二月九日為御番所御番筑登之

乾隆四十三年戊戌十二月朔日叙黄冠

乾隆四十八年癸卯六月朔日為御道具当大屋子

嘉慶八年癸亥十月八日不禄壽七十五

五世行正 伊覇筑登之親雲上

童名思武太唐名廉滿行七雍正十二年甲寅五月十一日生

父行盈

母無系真鍋

室無系宮平筑登之親雲上真蒲戸

長男行道

尚敬王世代

乾隆十三年戊辰二月十一日結攲髻

尚穆王世代

乾隆二十五年庚辰十二月朔日叙筑登之座敷

乾隆四十九年甲辰六月朔日為御道具当大屋子叙黄冠

乾隆五十八年癸丑六月二十日不禄壽六十

ハ世行前 伊覇筑登之

童名真蒲戸唐名廉洪隆行一乾隆十年乙丑八月二日生

父行積

母無系武樽金

室向氏名嘉山里之子親雲上朝兼女真銭 離別

長男行英

次男行見

継室無系上地筑登之親雲上女真牛

三男行郁

尚穆王世代

乾隆二十四年己卯閏六月二十二日結敧髻

乾隆四十九年甲辰十二月朔日為継世門御番筑登之

嘉慶二十年乙亥八月十二日不禄壽七十一

六世行路 伊覇子

童名真山戸唐名廉思明行一乾隆十六年辛未三月十三日生

父行亮

母無系真呉勢

尚穆王世代

乾隆三十年乙酉十一月十五日結敧髻

乾隆三十八年癸巳六月十七日不禄享年二十三號桂山

六世行佐 伊覇筑登之

童名小樽金唐名廉思義行二乾隆二十二年丁丑三月五日生

父行積

母無系武樽金

室無系上地筑登之親雲上女思戸

長女真伊奴金 乾隆四十七年壬寅八月十五日生

長男行教

次女真鶴 乾隆五十二年丁未九月二十九日生

次男行周

尚穆王世代

乾隆三十六年辛卯十二月二十九日結敧髻

乾隆四十五年庚子二月四日為久慶門御番筑登之

嘉慶二十二年丁丑八月十二日不禄壽六十一

六世行業

童名思加那唐名廉思聰行二乾隆二十三年戊寅八月十二日生

父行亮

母無系真呉勢

室罷氏安護筑登之親雲上長義女真鶴 離別

長女真呉勢 乾隆五十四年己酉十二月二十日生

継室查氏國吉筑登之親雲上真親女真牛

次女思戸 乾隆五十八年癸丑七月二十二日生

長男行通

次男行貞

三女真鍋 嘉慶八年癸亥三月二十五日生

三男行義

四男行朝

四女真鶴 嘉慶二十二年丁丑十月二十二日生

尚穆王世代

乾隆三十七年壬辰十月十八日結敧髻

乾隆四十五年庚子十二月九日為御書院花当

乾隆五十一年丙午六月朔日為貝摺奉行所筆者叙筑登之座敷

乾隆五十六年辛亥十二月朔日為加治奉行所筆者

嘉慶七年壬戌六月朔日為御料理座筆者

本年十二月朔日叙黄冠

嘉慶二十四年己卯六月朔日為御料理座大屋子

道光十一年辛卯九月八日不禄寿七十四號本覺

父行正

童名松金唐名廉安仁行一乾隆二十三年戊寅十一月二十七日生

父行前

室晉氏平敷筑登之仲德女思戸

長男行政

母無系真蒲戸

室任氏上里筑登之親雲上包昌女真鶴

尚穆王世代

乾隆三十七年壬辰八月二十日結敧髻

乾隆五十一年丙午十月五日不禄享年二十九

七世行英

童名真三良唐名廉邦基行一乾隆四十年乙未閏十月二十日生

父行前

母向氏真銭

尚穆王世代

乾隆五十四年己酉八月十日結敧髻

七世行見

童名小樽金唐名廉邦光行二乾隆四十四年己亥七月二十九日生

父行前

母向氏真銭

尚穆王世代

乾隆五十八年癸丑八月十二日結敧髻

尚灝王世代

道光七年丁亥十二月朔日叙筑登之座敷

童名真山戸唐名廉思徳行三乾隆五十五年庚戌八月二十七日生

七世行郁

母無系真牛

長男行康

次男行歡

尚灝王世代

嘉慶九年甲子二月二十四日結敧髻

七世行教

童名真三良唐名廉秉彜行一乾隆五十年乙巳五月二十八日生

父行佐

母無系思戸

室汪氏寄川筑登之親雲上孝于女真蒲戸

長女思戸 嘉慶二十一年丙子十一月二十八日生

長男行實

次男行完

三男行紹

四男行高

尚温王世代

嘉慶四年己未八月十日結敧髻

尚灝王世代

嘉慶二十二年丁丑十二月朔日叙筑登之座敷

道光八年戊子十二月朔日叙黄冠

七世行政

童名思武太唐名廉貴修行一乾隆四十四年己亥十二月二日生

父行道

母任氏真鶴

尚穆王世代

乾隆五十八年癸丑九月十二日結敧髻

七世行通

童名樽金唐名廉真精行一乾隆六十年乙卯七月五日生

父行業

母查氏真牛

室姚氏又吉筑登之元昌女真呉勢

長女真牛 道光十年庚寅十月十一日生

長男行方

継室傅氏神谷筑登之親雲上厚掟女真嘉戸

次男行千

尚灝王世代

道光六年丙戌十二月朔日叙筑登之座敷 嘉慶十四年己巳二月十二日結敧髻

道光十一年辛卯六月朔日為御番所御番親雲上

咸豐七年丁巳十一月二十三日不禄壽六十三號寒岩

七世行貞

童名思武太唐名廉真融行二嘉慶四年己未十月二十日生

父行業

母査氏真牛

室向氏津覇里之子親雲上朝盛女真加戸

長女真牛 道光十年庚寅七月二十六日生

長男行惇

尚灝王世代

嘉慶十八年癸酉二月十日結敧髻

尚育王世代

道光十七年丁酉十二月朔日叙筑登之座敷

道光十五年乙未六月八日不禄享年三十七號自心

七世行周

父行佐 母無系思戸

童名思次良唐名廉清智行二嘉慶三年戊午四月二十一日生

長男行申 室惠氏田里里之子親雲上友本女真牛

--128-

次男行信

継室勝連間切平喜屋村無系蒲戸名嘉原女真蒲戸

三男行好

四男行孝

尚灝王世代

嘉慶十七年壬申五月二十日結敧髻

道光七年丁亥十二月朔日叙筑登之座敷

咸豊十一年辛酉三月五日不禄壽六十四

七世行義

童名思次良唐名廉真俊行三嘉慶十二年丁卯三月六日生

母查氏真牛

室毛氏志喜屋里之子親雲上安政女真鶴

長女真牛 道光二十一年辛丑正月二十四日生

次女真蒲戸 道光二十七年丁未十一月九日生

尚灝王世代

道光元年辛巳二月十日結敧髻

尚育王世代

道光十七年丁酉十二月朔日叙筑登之座敷

道光二十一年辛丑十二月朔日為歓会門御番親雲上

七世行朝

童名真蒲戸唐名廉真納行四嘉慶十四年己巳十二月二十一日生

父行業

母查氏真牛

室向氏前里筑登之親雲上朝智女思戸

長男行伴

夭享年四

童名真牛唐名廉士孝道光二十一年辛丑九月十日生同二十四年甲辰九月二十八日

長女思戸

咸豊元年辛亥五月二十一日生

尚灝王世代

道光三年癸未二月十二日結敧髻

尚育王世代

道光十七年丁酉十二月朔日叙筑登之座敷

同二十三年癸卯六月朔日為御番所御番親雲上

同年十二月朔日為首里横目

同二十七年丁未十二月朔日為喜屋武間切在番

尚泰王世代

道光二十八年戊申十一月十五日為首里横目

同二十九年己酉四月為帰唐船迎勤番航于伊江嶋公務全竣帰京

咸豊五年乙卯十二月朔日為勝連間切在番叙勢頭座敷

同七年丁巳六月朔日為継世門御番親雲上

同九年己未十二月朔日為首里横目

同十年庚申四月為帰唐船迎勤番航于伊江嶋公務全竣帰京

八世行實

父行教

童名真三良唐名廉開基行一嘉慶二十二年丁丑十一月二十二日生

母汪氏真蒲戸

室秋氏新垣筑登之親雲上柴由女真牛

長男行白

尚灝王世代

道光十一年辛卯八月十五日結敧髻

尚泰王世代

咸豊四年甲寅十二月朔日叙筑登之座敷

同治三年甲子十二月六日叙黄冠

童名真牛唐名廉開新行二嘉慶二十四年己卯七月二十四日生

母汪氏真蒲戸

尚灝王世代

道光十三年癸巳五月十六日結敧髻

尚泰王世代

咸豊四年甲寅十二月朔日叙筑登之座敷

同治三年甲子十二月六日叙黄冠

八世行紹

童名松金唐名廉開烈行三道光四年甲申六月二十七日生

室毛氏冨田筑登之親雲上盛範女思戸

母汪氏真蒲戸

長男行苗

尚育王世代

尚泰王世代

道光十八年戊戌十二月十日結敧髻

咸豐四年甲寅十二月朔日叙筑登之座敷

同治三年甲子十二月六日為首里横目叙黄冠

八世行高

童名真蒲戸唐名廉開述行四道光四年甲申六月二十七日生

父行教

母汪氏真蒲戸

尚育王世代

道光十八年戊戌十二月十日結敧髻

咸豊四年甲寅十二月朔日叙筑登之座敷

同治三年甲子十二月六日叙黄冠

八世行申

童名真蒲戸唐名廉文勲行一道光十一年辛卯六月二十九日生

父行周

母惠氏真牛

室孫氏佐久本筑登之親雲上嗣起女思加那

長男行苞

次男行寶

尚育王世代

道光二十五年乙巳二月二十三日結敧髻

咸豊四年甲寅二月七日不禄享年二十四

八世行信

童名樽金唐名廉文仕行二道光十一年辛卯六月二十九日生

父行周

母惠氏真牛

室勝氏知花筑登之親雲上包真女思龜

長男行生

継室勝連間切南風原村無系松島袋女松金

次男行保

三男行伯

尚育王世代

道光二十五年乙巳九月九日結敧髻

八世行惇

童名思加那唐名廉直榮行一道光十四年甲午九月二十三日生

母向氏真嘉戸

父行貞

室密氏比屋根筑登之親雲上方房女真嘉戸

長男行德

尚泰王世代

道光二十八年戊申二月二十日結敧髻

同治三年甲子十二月六日叙筑登之座敷

同治十年辛未十二月朔日為首里横目叙黄冠

八世行伴

童名真蒲戸唐名廉士忠行一道光十八年戊戌二月三日生

父行朝

母向氏思戸

室蔚氏湧田筑登之親雲上森清女真嘉戸

長男行寛

長女思戸 咸豊十一年辛酉十月十八日生

尚泰王世代

咸豊二年壬子十二月二十日結敧髻

八世行方

童名樽金唐名廉光宗行一道光二十一年辛丑八月二十八日生

父行通

母傅氏真嘉戸

尚泰王世代

咸豊六年丙辰五月十日結敧髻

八世行千

童名真蒲戸唐名廉光祖行二道光二十八年戊申十月十六日生

父行通

母傅氏真嘉戸

九世行寛

童名思加那唐名廉立身行一咸豊八年戊午十二月三十日生

父行伴

母蔚氏真嘉戸

九世行生

童名真山戸唐名廉宏木行一咸豊四年甲寅五月二十五日生

父行信

母勝氏思龜

九世行寳

童名真蒲戸唐名廉受澤行二咸豊四年甲寅六月二日生

父行申

母孫氏思加那

九世行苞

童名樽金唐名廉受恩行一咸豊四年甲寅六月二日生

父行申

母孫氏思加那

九世行苗

童名真三良唐名廉進德行一咸豊四年甲寅五月二十三日生

父行紹

母毛氏思戸

尚泰王世代

同治八年己巳三月五日結敧髻

九世行白

童名思龜唐名廉建基行一咸豊四年甲寅五月十八日生

父行實

母秋氏真牛

尚泰王世代

同治八年己巳三月五日結攲髻

八世行好

童名真蒲戸唐名廉文切行三道光十五年乙未六月二十五日生

父行周

母無系真蒲戸

室金氏上江洌里之子親雲上安寛女思武太

長男行宅

尚泰王世代

道光二十九年己酉八月十日結敧髻

八世行孝

童名思龜唐名廉文光行四道光二十三年癸卯二月二十日生

父行周

母無系真蒲戸

尚泰王世代

咸豊七年丁巳六月二十日結敧髻

九世行宅

童名思龜唐名廉求明行一咸豊六年丙辰五月五日生

父行好

母金氏思武太

尚泰王世代

同治九年庚午八月十日結敧髻

九世行保

童名真蒲戸唐名廉宅業行二咸豊五年乙卯九月朔日生

父行信

母無系松金

尚泰王世代

同治八年己巳二月三日結敧髻

九世行伯

童名思龜唐名廉宅功行三咸豊十年庚申九月三日生

父行信

母無系松金

八世行康

童名小樽金唐名廉必榮行一道光二十四年甲辰二月二日生

父行郁

母晉氏思戸

尚泰王世代

咸豊八年戊午九月十日結敧髻

八世行歡

童名真蒲戸唐名廉必昌行二咸豊元年辛亥三月五日生

父行郁

母晉氏思戸

尚泰王世代

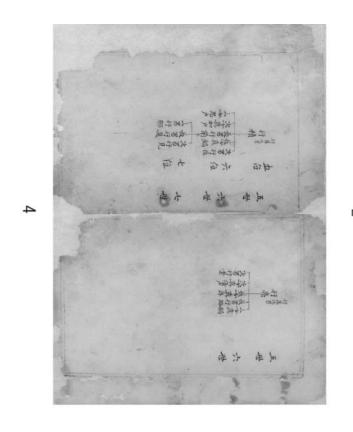
同治四年乙丑八月三日結敧髻

九世行德

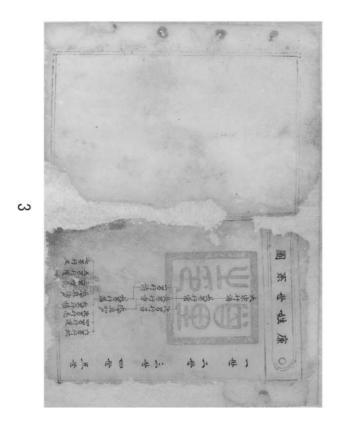
童名真三良唐名廉世輝行一同治十三年甲戌十一月二十一日生

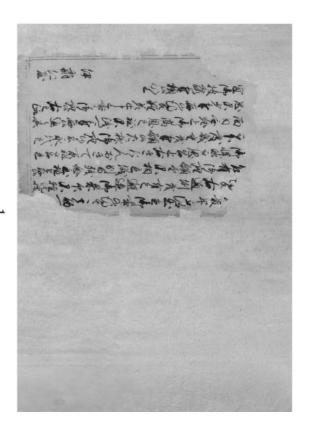
父行惇

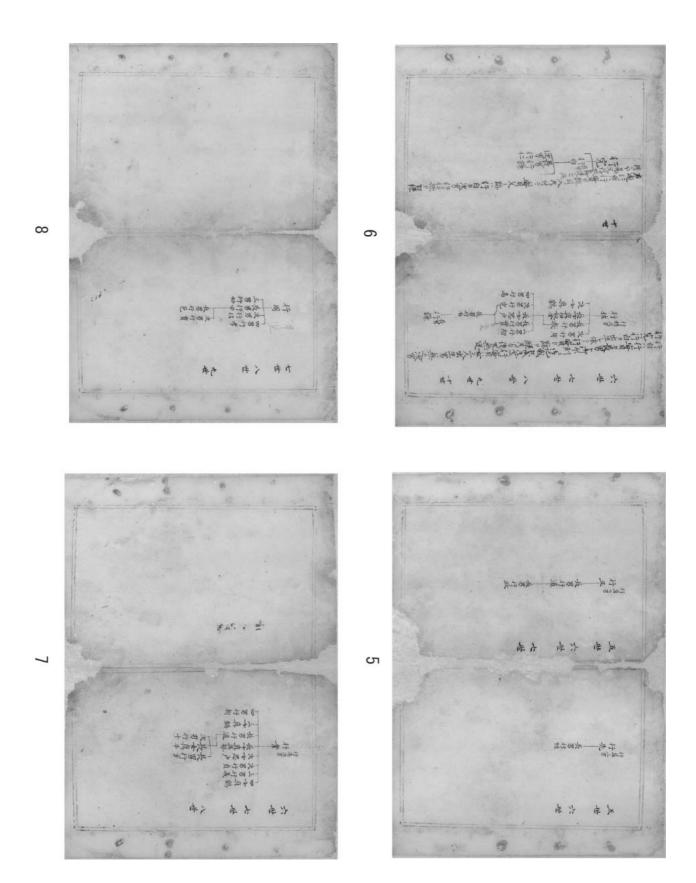
母密氏真嘉戸

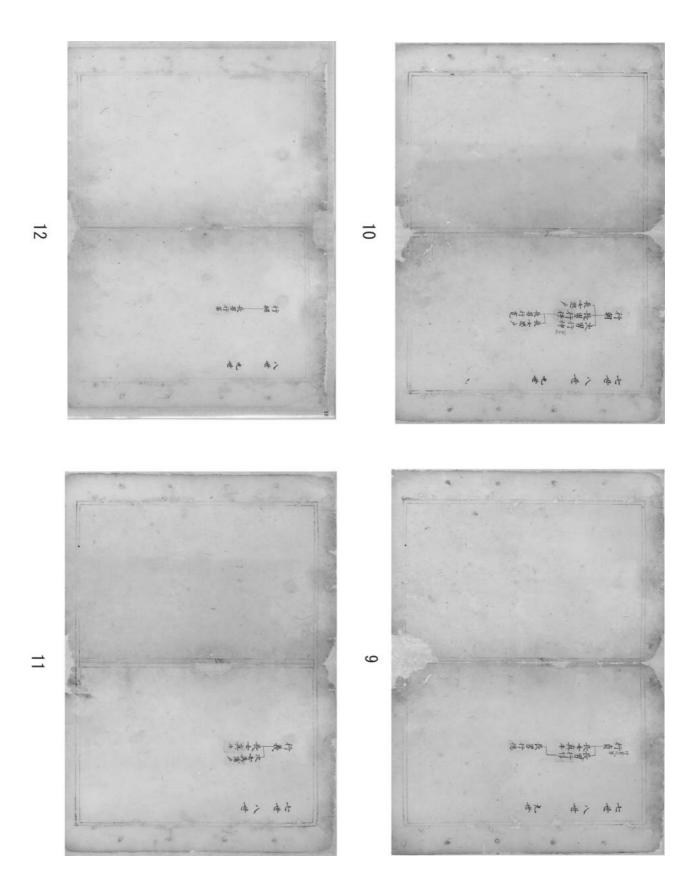


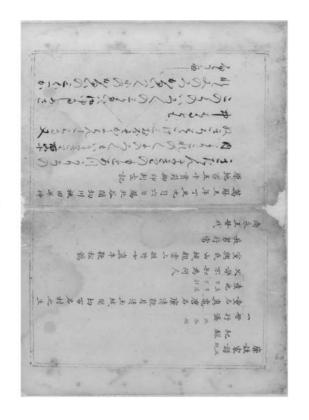


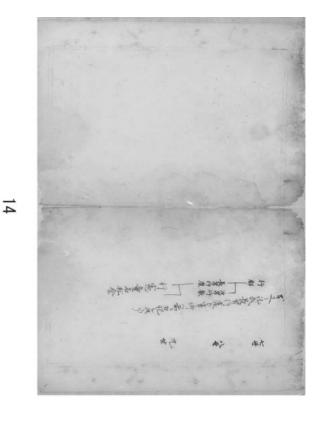


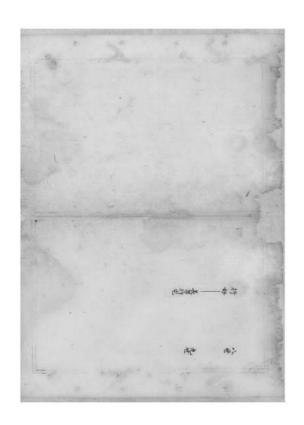




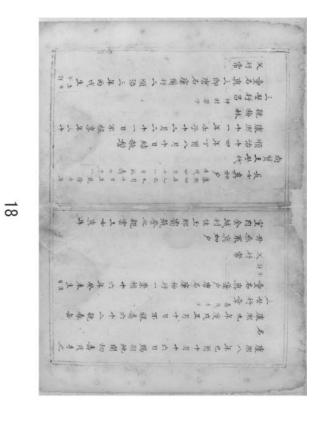












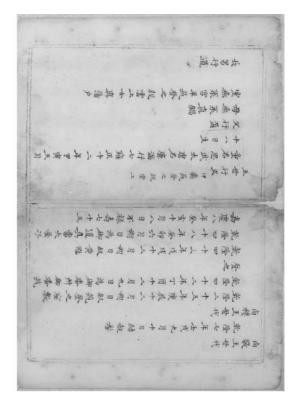
> 南貞王世代 順治年間教養恩 頂戴 崇補罪間 尚貴王俱擇以前主為俱者似就者之 南野王中代 三男行衛衛衛之被象外也 北男行昌 長男行章 軍亦用村住外下親雲上本真如产親自心 重名真山户府名康取行一萬曆三十七年四面生 二世行常寺前出上 属者五年九月六日 acon control build is (000) 八日かんないといいいことの -CEONCI あるいなくので

唐名真山户唐名康照好一康熙三十一年去申十一一條四世行錢仲實或學之犯官上一一該康三十九年東國三月十日不該拿其五十六龍康無二五葵卯八日十日時報等我有五十六龍東智工學校司日代號,與國政政學在就會之親電上衛篇本真滿倉性歌中重成大行衛之也有養養所之間的六年四五上以對之之行衛之也有有所以其以同民之月十日不提享其二十一種歌進展八五年而長之月十日不提享其二十一種歌團王惟代

19

23

24

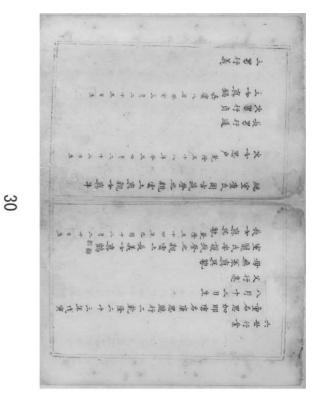


> 母無系真獨 父行墓) = a 童名小調金店名康福行六雍正七年四百九日十 五世行納作衛武堂之犯雲上 整度五十年 しら十月五日不禄京年五十八 東摩七年子成二月九日結散學 南城王寺代 母與策章 父行五五 J# m 1 重名松金店名 南湖行五雍正六年民中七月二十 五世行處中衛子 十二二十 我待切十三年代戊五月二十九日不禄享年五十 雍正十二年甲寅八月九日結散學 南敬其事代

就宴無京上地就容之親雲上亦真汗水富等作是或男行是女母孫東武操會宣向反右為山里之子親蒙上與京本真熊鄉母與天行親人行殺人行殺人自是者真衛戶應名康然降行一就除十年亡五八月六世行前母衛員在人工原且大員人工原其六十二年原是六月東衛二十八年原且六月五十八年原且六月八十日不振壽六十九年甲民六月明日民共復之在最就是一十五年東展不二月期日政就發之在最初進工世代,其本八十三年成長二月十八日的我等

27

28



就修五十八年而年十月五日不禄東年二十九 就管三十七年本展八月八十日結飲者 唐穆王世代 唐穆王世代 室性氏上里無壓之親害上回召古真衛 母縣 緊惧傷产人 人科豆 人并豆 八月八十七日生 金名松食磨石廣准仁行八東陸二十二年代東十六世代送日南台

在慶二十六年丁五八月十二日不服為六十八之後四十五年東子二月四日為人慶門御眷就登北後三十六年本印十二月二十九日結飲禁為其世代成者任成 次十直衛先衛三十二年丁未七日二十七日主政等行後 攻本直伸校会出海四十七五十五年十七日主政者衛家上地就登上相管上十四日五日五月月日十二日五日五月月五日 中衛家民所任命 中衛家民所各一人日本日本金名小科全唐名康因美行二型帝二十二年丁五六四十七年任 中衛先官 有衛馬

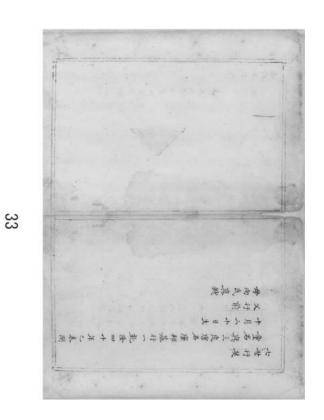
直花十一年年印九月八日不依存七十四致本意為東八四年巴州六月朝日為加料烈盗大至今本在外外門外在北八月朝日北部財政盗等者者魔是七年各成公司網日為鄉料理盗等者後是五六年各十八日期日為柳村四省等者故與與今之強敢 點降五十八年南午六月朝日為與官院北衛教養之本五年成十八年南午六月初日為月為衛者院村等者就使四十五年度子十八日九日為御書院北衛衛後三十七年在成十八日九日北田為御書院北衛衛後三七代

<u>3</u>

32



道龙七年丁亥十二月朝日改裁登之強數局衛民等代



母問氏直续父奸前七月二十九日生童名小群会宿在宿村之先郎四十四年日本七月上

35



道龙八年戊子十二月瀬日敬實題,為東之十二年丁五十二月朝日敬意之夜歌為憲之十二年丁五十二月朝日敬就登之夜歌尚獨王世代

40

39

の男行商人、男打領大害村衛東、大害村東大害村衛東、大害村東大害村東東村衛衛、大京村東東京、京京、東京、「京南子十一年二十八日土東京、明朝を之親宗之奉李直海戸中衛東軍とり入付佐、日上、「八日生食る東三民意名唐京東行「北陸五十年しの五七七行教

—142—



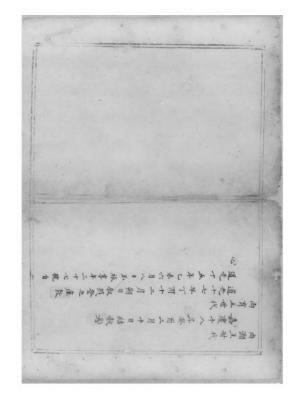
東京本十七十二月二十三日不成為六十三號成坐七二年李印六月前日為南各所衛各殿官上進九十一年李印六月前日衛衛各所衛各殿官上道光六年司武十二月前日放於登之変数為成本四四四二月十二日結後整衛衛軍七十四四四二月十二日結後整



次男杆干粮宣傳氏神公司金三親官上厚枝女真妻户故司付有我有其事 我可付有我不真非 追之十年申只十月十一日至皇他氏人古司会之元司女真其都母有民道本母有民道本人自是 人什豪 人名 集

43

44



成章十一年季爾三月五日苏林者六十四道北北 年丁章十六月期日 似此登之 或表是之 年丁章十六月期日 似此登之 或表音表表 春瀬子 李年本五月六十日結報縣

東安真+ 道化十年 東京七月二十六日上宣內民律衛皇之 本籍型之 于親雲二朝盛 女真如产 教委氏真体 母意氏真体 人行業 人名斯索 金石 思其人 宿名 廣雄難行二素震四年 日東十月 七世行員

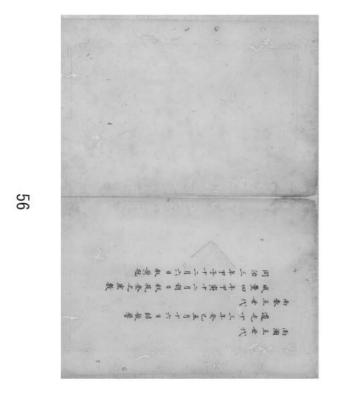
四男件举业男将好好在妻及其作礼是在生作。他皇母建門却年者是村兵系都户名嘉原女其诸汉男奸作吏男氏因这是之子见宫上父本女真本堂教徒是人人村位政党是是成者是不同是人人村位

47

48

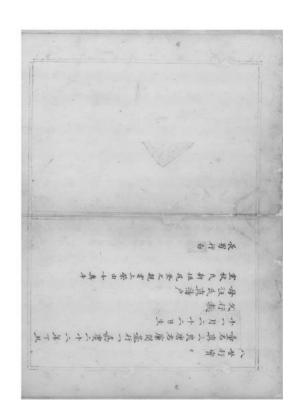


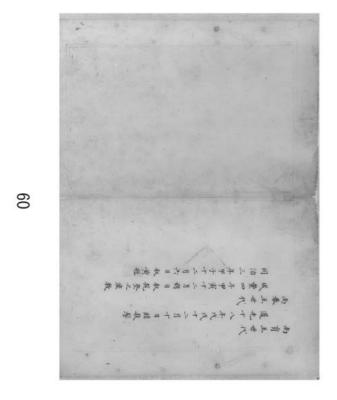
-145-

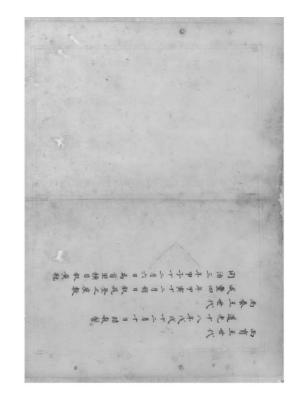








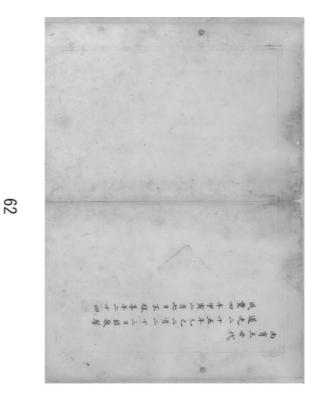






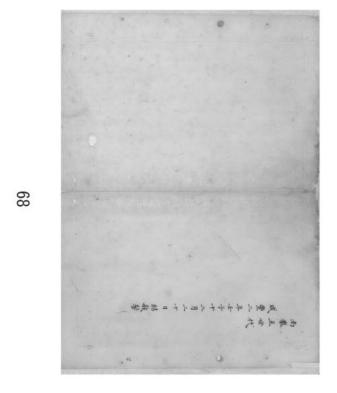




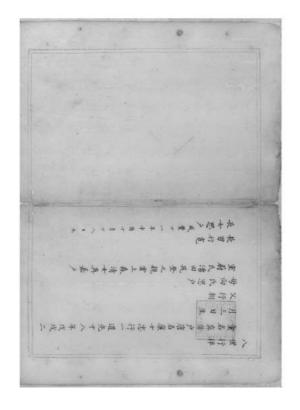


大男行费 长男作艺 宣孫人後久本就歷又親拿上解廷女宗如那 母惠氏真年 母惠氏真年 人行用 月二十九日生 直之十九日生 童名真衛产居名康文教行一道光十一年李明六八世行中

63









-149-

